

別記

- 別記 1 舗装の分類
- 別記 2 道路占用工事着手届
- 別記 3 道路占用工事しゅん功届
- 別記 4 道路掘さく制限解除願
- 別記 5 仮舗装の構造
- 別記 6 復旧範囲および埋戻し材料の使用範囲
- 別記 7 埋戻し材料の試験方法
- 別記 8 舗装復旧工法図
- 別記 9 埋戻し復旧跡検査の判定値の求め方
- 別記 10 舗装復旧後の路面表示

別記1 舗装の分類

① アスファルト舗装 90 型 (改質Ⅱ型)	高級舗装
② アスファルト舗装 85 型 (改質Ⅱ型)	〃
③ アスファルト舗装 70 型 (改質Ⅱ型)	〃
④ アスファルト舗装 60 型、アスファルト舗装 60 型 (改質Ⅱ型)	〃
⑤ アスファルト舗装 55 型、アスファルト舗装 55 型 (改質Ⅱ型)	〃
⑥ アスファルト舗装 40 型	中級舗装
⑦ アスファルト舗装 35 型 (透水性)	〃
⑧ アスファルト舗装 25 型	〃
⑨ アスファルト舗装 19 型 (透水性)	簡易舗装
⑩ アスファルト舗装 10 型	〃
⑪ セメントコンクリート舗装 40 型	中級舗装
⑫ インターロッキングブロック舗装 35 型	高級舗装
⑬ インターロッキングブロック舗装 18 型	中級舗装
⑭ コンクリート平板舗装 24 型 (透水性)	〃
⑮ コンクリート平板舗装 16 型	〃
⑯ 砂利舗装 12 型	簡易舗装

別記2 道路占用工事着手届

道 路 占 用 工 事 着 手 届					第 年 月 日	号 日
(宛先) 大田区長				申請者		
				担当者		
占 用 目 的						
占 用 物 件					占 用 区 分	
占 用 の 場 所	路 線 名					
	占 用 箇 所					
	占 用 位 置					
道 調 番 号	企 業 番 号					
	調 整 番 号					
許 可 番 号	年 月 日 付		第 号			
予 定 復 旧 方 法						
着 手 年 月 日	年 月 日	占 用 工 事 予 定 年 月 日	年 月 日	昼 夜 間 工 事 別		
しゅんご予定年月日	年 月 日	舗装工事予定年月日	年 月 日			
掘 削 予 定 数 量						提 出 先
舗 装 種 別	歩 車 道 区 分	幅 (m)	延 長 (m)	数 量	単 位	
						管理者欄 受付年月日： <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">年 月 日</div>
備 考						

別記3 道路占用工事しゅん功届

道路占用工事しゅん功届								第	号	
								年	日	
(宛先) 大田区長						申請者				
						担当者				
占 用 目 的										
占 用 物 件						占 用 区 分				
占 用 の 場 所	路 線 名									
	占 用 箇 所									
	占 用 位 置									
道 調 番 号	企 業 番 号									
	調 整 番 号									
許 可 番 号	年 月 日 付			第		号				
着 手 年 月 日	年 月 日		昼工 夜事 間別			提 出 先				
しゅん功年月日	年 月 日									
掘 削 復 旧 数 量							復 旧 方 法	昼 夜 別	免 除	特 記 事 項
舗 装 種 別	歩 車 道 区 分	幅 (m)	延 長 (m)	数 量	単 位	箇 所 数				
立 合 年 月 日		年 月 日		管 理 者			占 用 者			
管 理 者 欄										

別記 4 道路掘さく制限解除願

第 号
年 月 日

道路掘さく制限解除願

本占用申請箇所は、掘さく制限路線ではありますが、下記の理由により、大田区特別区道路占用規則第5条の規定に基づき、掘さく制限の解除を願います。
なお、当該掘さく工事に起因して第三者との紛争が生じた場合は、一切申請者が責任をもって処理します。

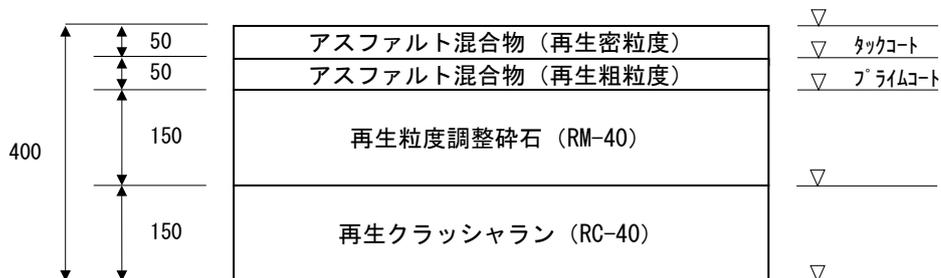
記

1. 掘さく箇所
2. 規制年月
3. 解除理由

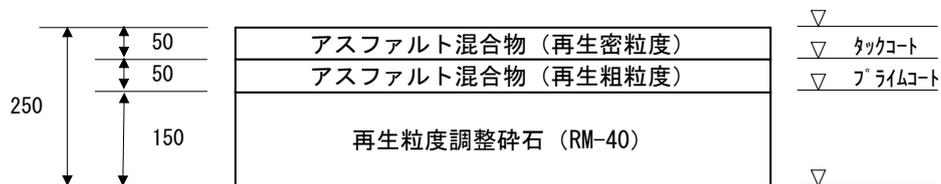
別記5 仮舗装の構造（参考）

※番号（①～⑮）は別記1参照

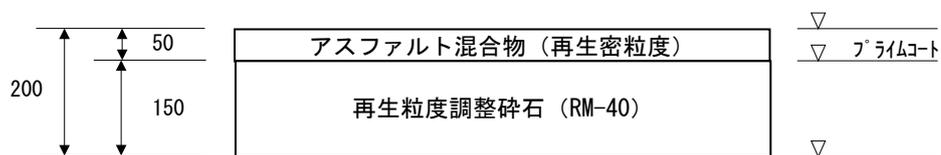
1 舗装分類：①②③④



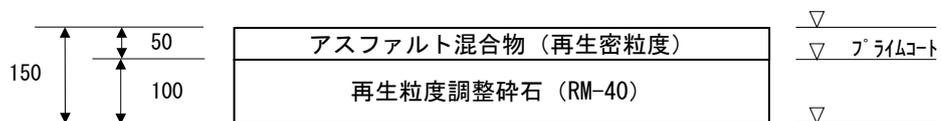
2 舗装分類：⑤



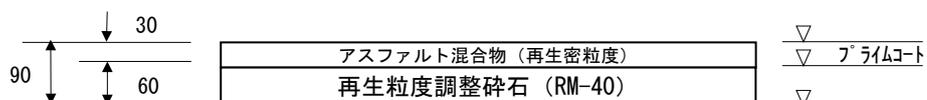
3 舗装分類：⑥⑪⑫



4 舗装分類：⑦⑧

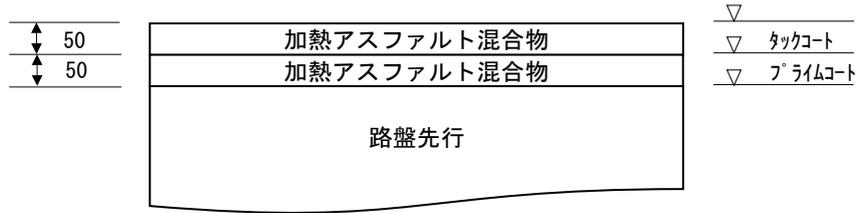


5 舗装分類：⑨⑩⑬⑭⑮

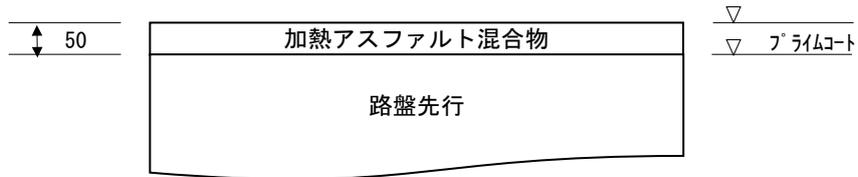


※路盤先行の場合

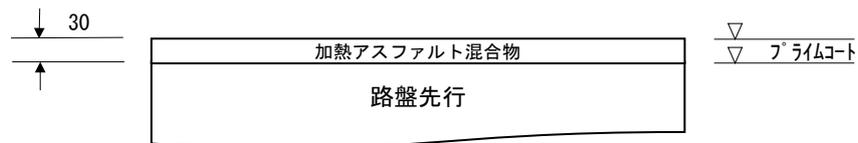
6 舗装分類：①②③④⑤



7 舗装分類：⑥⑦⑧⑪⑫

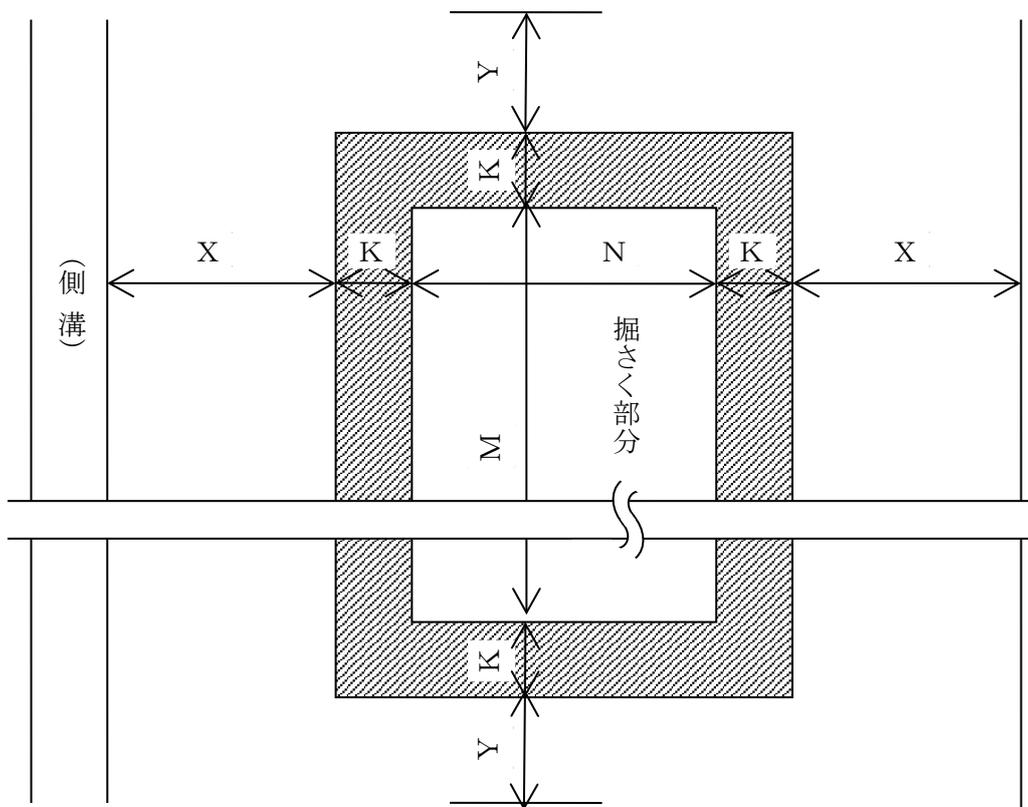


8 舗装分類：⑨⑩⑬⑭⑮



別記6 復旧範囲および埋戻し材料の使用範囲

1 平面図



S : 復旧面積

M : 掘さく部分の長さ

N : 掘さく部分の幅

K : 影響部分の幅 (高級舗装 : 0.4m、中級舗装・簡易舗装 : 0.3m)

X、Y : Kから路肩及び施工目地 (膨張、収縮目地も含む) までの距離

◇アスファルト舗装の場合

アスファルトコンクリート舗装の復旧面積は、 $S = (M+2K)(N+2K)$ とする。

ただし、X、Yが150cm未満の場合は、X、Yの復旧を表層及び基層打替えとする。また、点掘りの場合は、原則として復旧部分相互間の距離が3m未満のとき、表層及び基層打替えとする。

◇セメントコンクリート舗装の場合

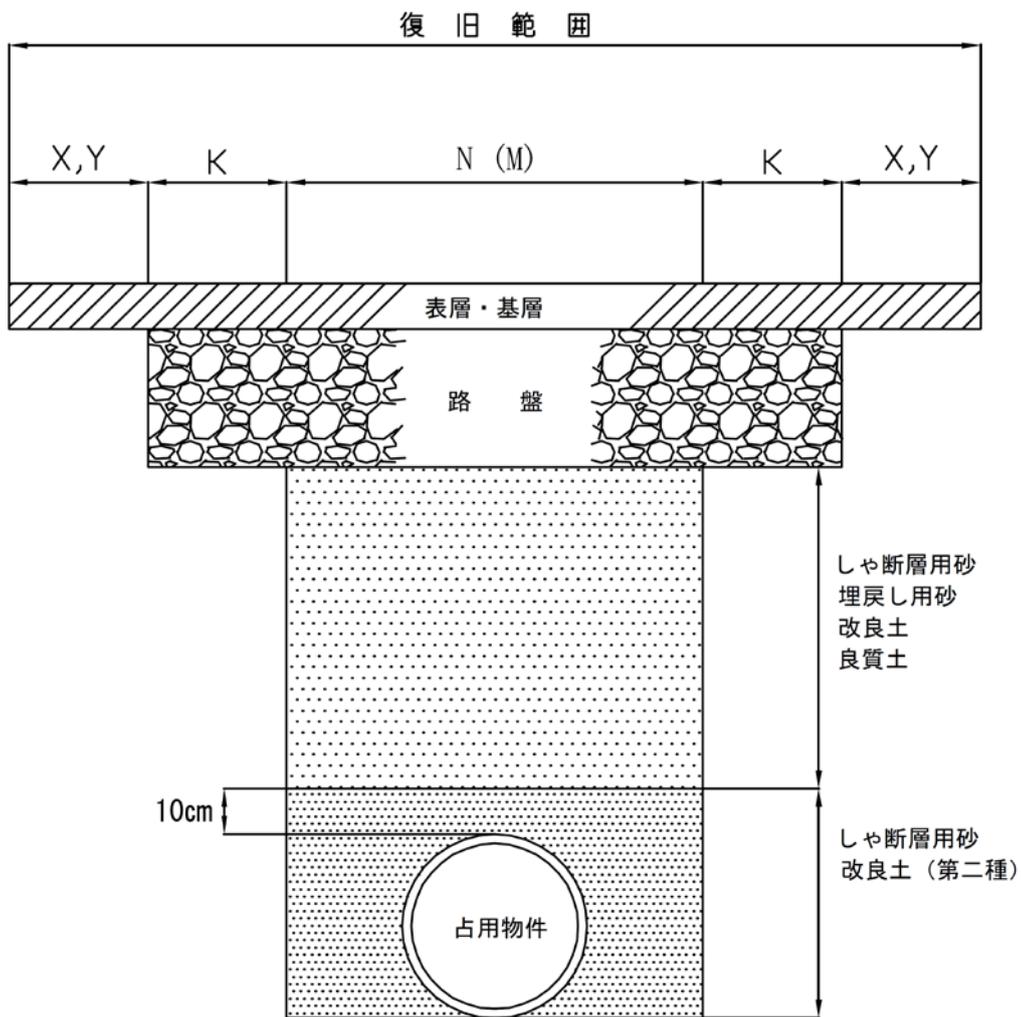
セメントコンクリート舗装の復旧面積は、原則として $S = (M+2K)(N+2K)$ とするが、 $M \times N$ が $2m \times 2m$ に満たない場合は、各々 $2m \times 2m$ とする。

ただし、X、Yどちらかの距離が2m未満の場合は、版一区画を復旧範囲とする。

◇インターロッキングブロック舗装の場合

インターロッキングブロック舗装 35型は中級舗装と同様とする。

2 断面図



別記 7 埋戻し材料の試験方法

1 しゃ断層用砂および埋戻し用砂

品質：土木材料仕様書（東京都建設局）による

試験項目	試験方法
土研式円錐貫入試験	「道路工事設計基準」（東京都建設局）による。

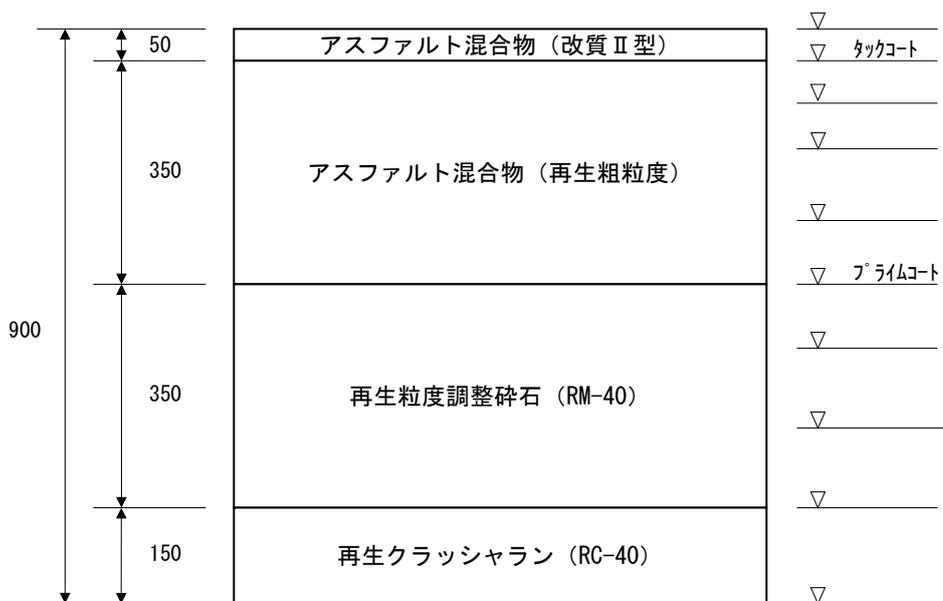
2 改良土および良質土

試験項目		試験方法
締固め度	基準密度 乾燥密度（良質土のとき）	CBR 試験方法の水浸前における乾燥密度 CBR 試験方法は自然含水比 3層 67回 4日水浸養生（舗装試験法便覧）
	最大乾燥密度（改良土のとき）	突固めによる土の練固め試験方法（JIS A1210）
	現場密度	次のいずれかの試験方法による 1 RIによる密度の測定方法（舗装試験法便覧） なお、RIを用いるときは自動記録紙に記入すること。 2 砂置換法による路床の密度の測定方法（舗装試験法便覧） 3 モールド等を使用した密度測定

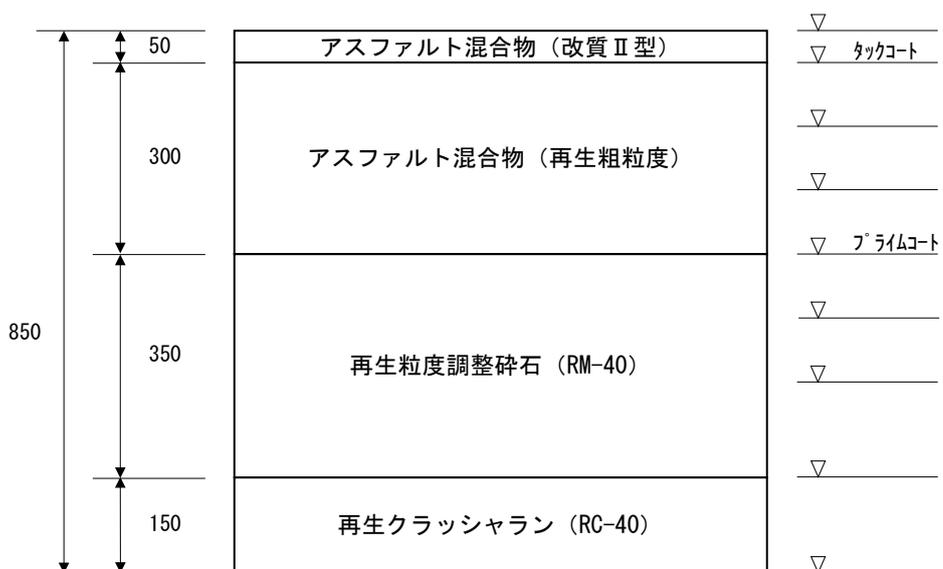
別記 8 舗装復旧工法図

- 表層が開粒アスコン・その他の特殊舗装については、別途協議することとする。
- 階段その他特殊構造のものについては、道路管理者の指示によることとする。
- 再生材（表層材・基層材・路盤材）は使用可とする。
- 下記構造図のローラーマークは標準的な位置を示している。転圧位置は道路管理者と協議を行うこととする。

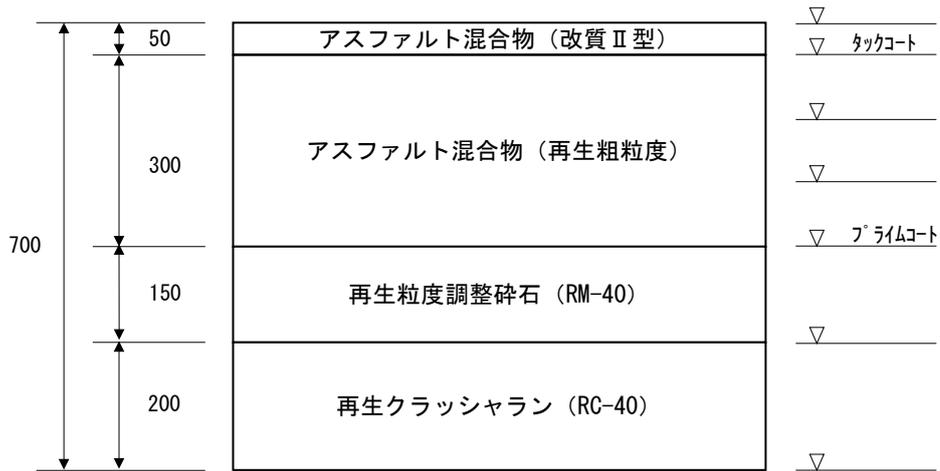
① アスファルト舗装 90 型 (改質 II 型)



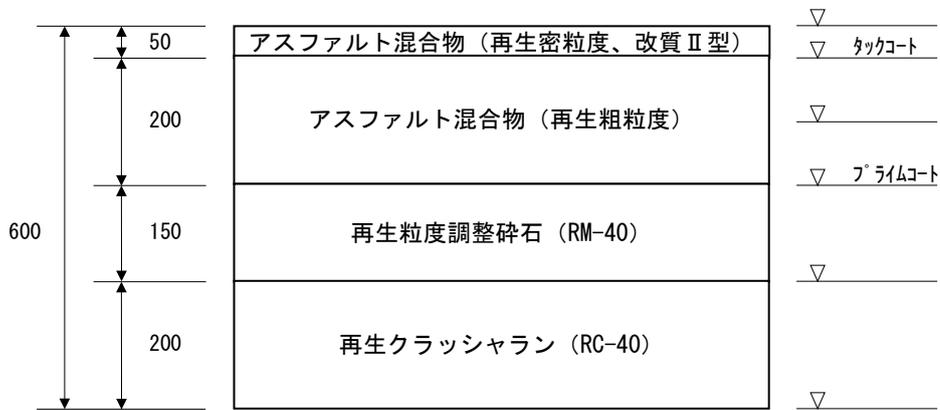
② アスファルト舗装 85 型 (改質 II 型)



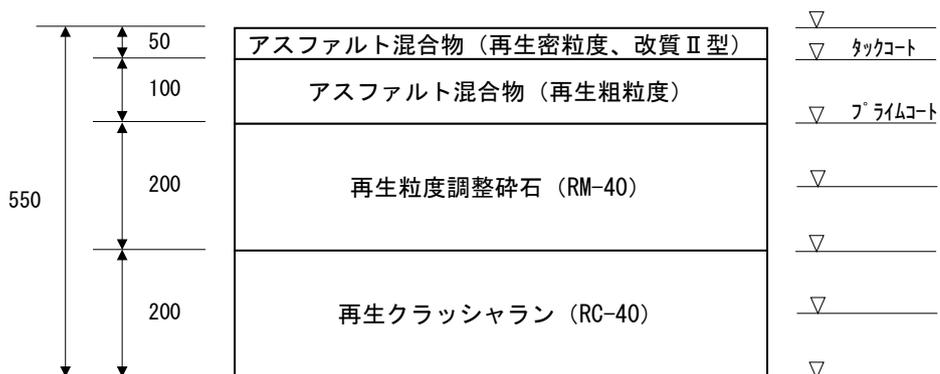
③ アスファルト舗装 70 型 (改質 II 型)



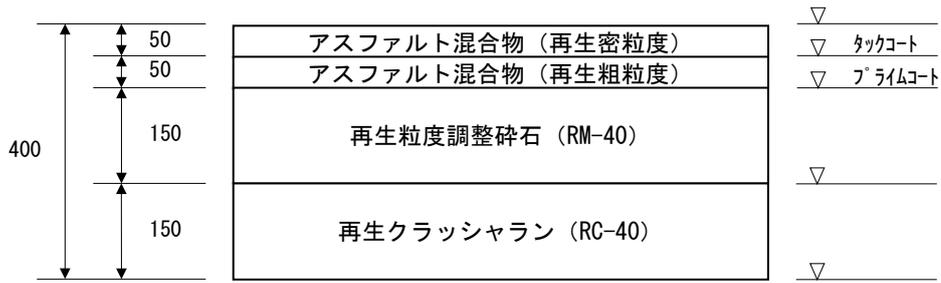
④ アスファルト舗装 60 型、アスファルト舗装 60 型 (改質 II 型)



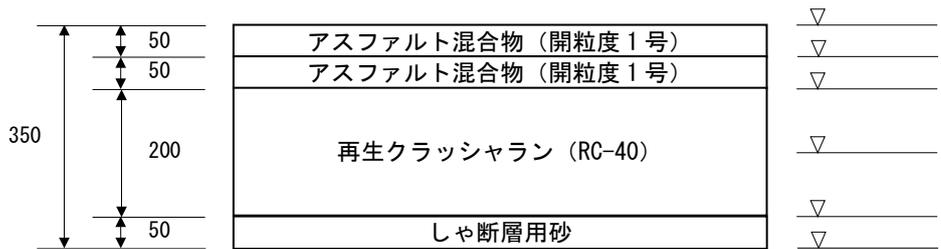
⑤ アスファルト舗装 55 型、アスファルト舗装 55 型 (改質 II 型)



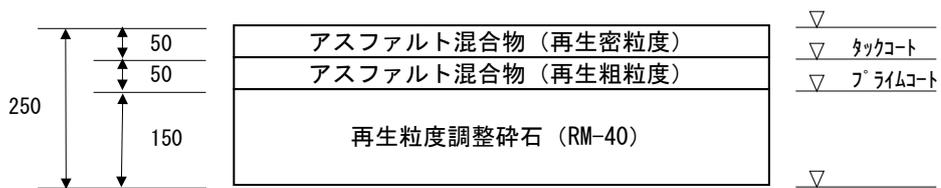
⑥ アスファルト舗装 40 型



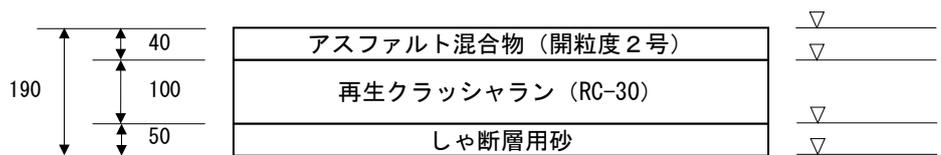
⑦ アスファルト舗装 35 型 (透水性)



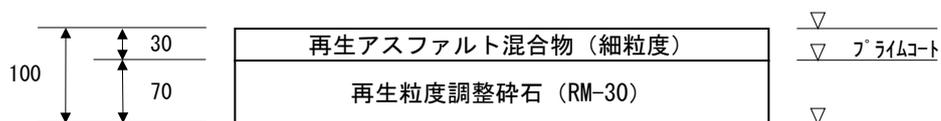
⑧ アスファルト舗装 25 型



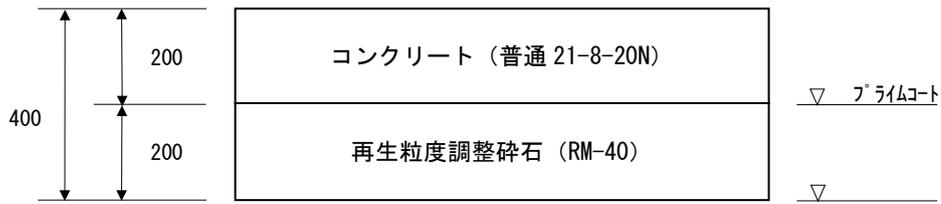
⑨ アスファルト舗装 19 型 (透水性)



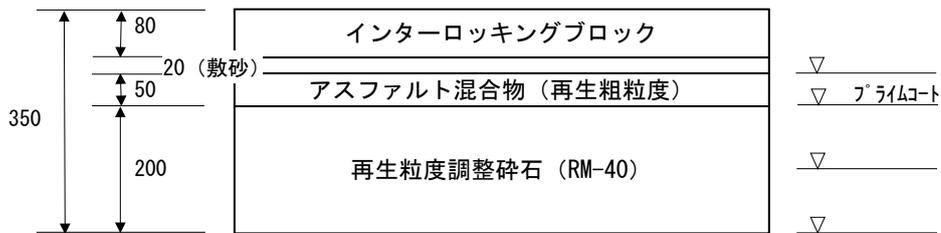
⑩ アスファルト舗装 10 型



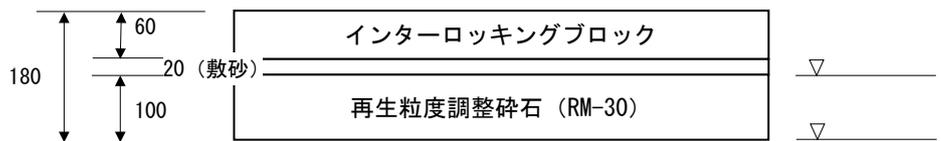
⑪ セメントコンクリート舗装 40 型



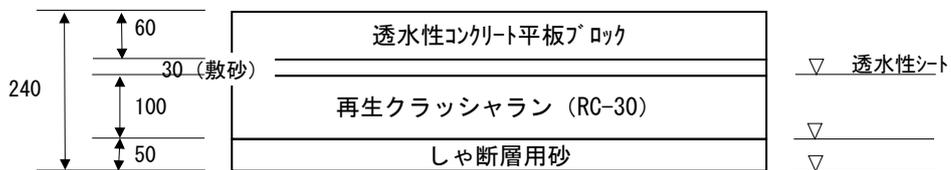
⑫ インターロッキングブロック舗装 35 型



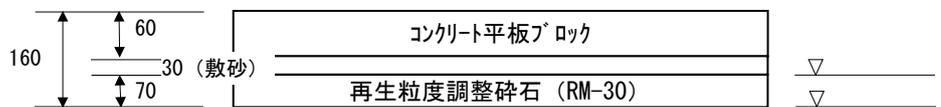
⑬ インターロッキングブロック舗装 18 型



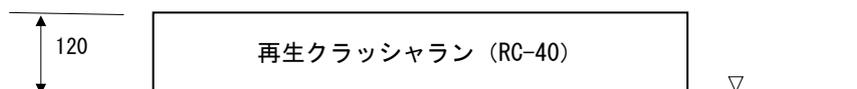
⑭ コンクリート平板舗装 24 型 (透水性)



⑮ コンクリート平板舗装 16 型



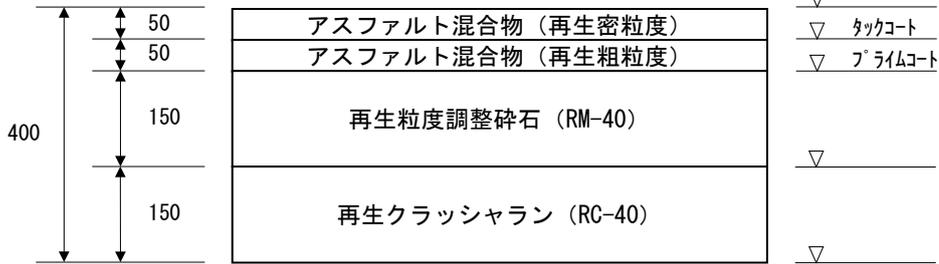
⑯ 砂利舗装 12 型



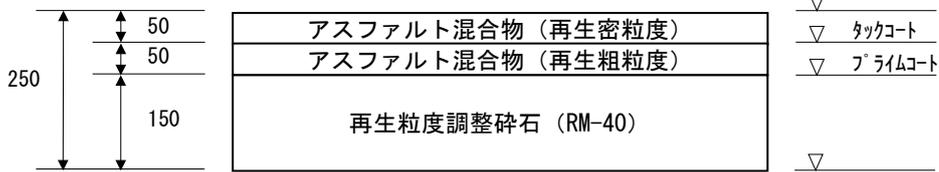
【受託】

記構造図は標準的な構造であり、交通量・地域特性・工事内容により道路管理者が別途指示する場合があります。※番号(①～⑮)は別記1参照

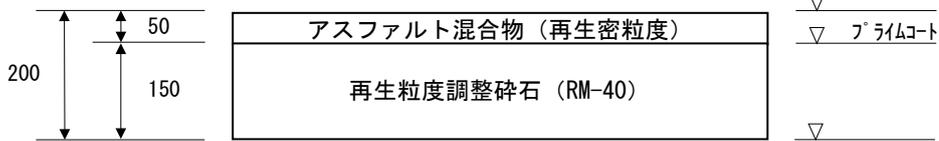
■ アスファルト舗装 90 型他 (①②③④)



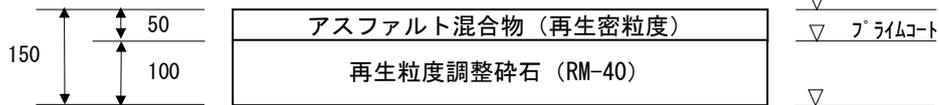
■ アスファルト舗装 55 型 (⑤)



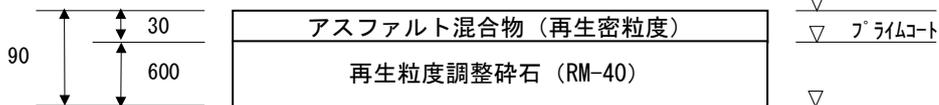
■ アスファルト舗装 40 型他 (⑥⑦⑧⑪)



■ アスファルト舗装 25 型他 (⑨⑩)



■ 歩道舗装等 (⑫⑬⑭⑮)



別記9 埋戻し復旧跡検査の判定値の求め方

1 施工管理記録のデータ数が14個以上のとき

検査用データは、施工管理記録から無作為に14個抽出する。

検査用データは、それぞれ次の値を用いる。

ア 土研式円錐貫入試験のとき

深さ0.1mごとの貫入に要する打撃回数の深度方向の平均値

イ 締固め度のとき

敷きならし厚0.3mごとの深度方向の平均値

判定値は、次式により算出する。

$$\text{判定値} = \bar{X} - k \cdot \delta_{n-1}$$

\bar{X} : 検査用データの平均値 k : 合格判定係数 ($k=0.94$)

δ_{n-1} : 検査用データの標準偏差

2 施工管理記録のデータ数が5個以上14個未満のとき

判定値は、施工管理記録の全データを検査用データとし、1と同様に算出する。

ただし、このときの合格判定値は次によるものとする。

合格判定係数 k

検査用 データ数	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14以上
合格 判定係数	1.37	1.25	1.17	1.12	1.06	1.03	1.01	0.98	0.97	0.94

別記 10 舗装復旧後の路面表示

見易い色の油性ペイント使用（白又は黄色）

・ 東京ガスネットワーク(株) 南部導管ネットワークセンター



・ 水道局 西部建設事務所・南部支所配水第一課



・ 水道局 南部支所給水第一課（大田給水管工事事務所）



・ 東京電力パワーグリッド(株) 東京工事センター



・ 東京電力パワーグリッド(株) 工務部送変電建設センター



・ 東京電力パワーグリッド(株) 東京支店品川支社



・ 東日本電信電話(株)



・ 下水道局 第二基幹施設再構築事務所



・ 下水道局 南部下水道事務所（大田出張所）



上記以外の路面表示は道路管理者の指示に従うこと

